

2, 3歳児をもつ母親の育児情報ニーズ —ソーシャルメディアにおける発言の分析—

井田 歩美¹⁾, 猪下 光²⁾

抄 録

本研究の目的は2, 3歳児をもつ母親のソーシャルメディア上の発言内容を分析し, 母親の育児情報ニーズを明らかにすることである。対象は株式会社ベネッセコーポレーション『ウイメンズパーク』における「2歳児ママの部屋」および「3歳児ママの部屋」での母親の発言12,795件であり, テキストマイニング法により分析を行った。結果, 2歳児をもつ母親はトイレトレーニングおよび言語発達に関連したこと, 3歳児をもつ母親は幼稚園や保育園およびトイレトレーニングに関連した情報を求めていることが明らかとなった。今後は母親が育児情報の質を取捨選択し, 意思決定できるためのヘルスリテラシー向上のための支援の重要性が示唆された。

キーワード: ソーシャルメディア, 2歳児, 3歳児, 育児情報

I. 緒言

現在の母親は成育過程において子どもに接する機会や母親モデルがないまま成人となり母親となることが比較的多い。また少子化や核家族化, 地域連帯感の希薄化により身近に相談できるママ友達は少なく, 育児の孤立化が進んでいる。そのため母親は育児に関する情報をソーシャルメディアより得ることが多くなっている¹⁾。

20代から40代の母親世代のインターネット利用率は95%²⁾を超え, さらに, スマートフォンの急速な普及³⁾により母親たちがソーシャルメディアを利用し, 育児上の不安や疑問を解決することは日常的となった⁴⁾。先行研究において, 1歳未満の子どもをもつ母親は授乳, 離乳食といった子どもの栄養と予防接種に関すること⁵⁾, 1歳児をもつ母親は断乳, 卒乳に関すること⁶⁾への情報ニーズが大きいことが明らかとなった。

そこで, 本研究は, 2歳児および3歳児をもつ母親がソーシャルメディア上で発言した内容を分析することで母親の育児情報ニーズを明らかにし, 具体的な支援への示唆を得ることを目的とした。

II. 方法

1. 研究対象および期間

研究対象は, 共同研究機関である株式会社ベネッセコーポレーションが管理運営しているWebサイト『ウイメンズパーク』に書き込まれた2011年4月から2012年3月までの1年間に幼児をもつ母親が発言したものの内, 「2歳児ママの部屋」の発言7,183件および「3歳児ママの部屋」の発言5,612件とした。

2. 分析方法

分析には, 株式会社NTTデータ数理システム Text Mining Studio4.2 for Windowsを使用した。母親の発言タイトルから単語出現頻度^{注1)}をカウントし, 2歳児および3歳児をもつ母親の育児情報ニーズを概観した。さらに, 高頻度に出現した単語を含む発言内容について, 係り受け頻度分析^{注2)}および注目分析^{注3)}を行い, 得たい育児情報の詳細を分析した。

3. 倫理的配慮

本サイトは個人情報の保護に関して万全の体制を取っており, 匿名化, 守秘義務, 利益不利益の回避, 入会・退会の自由などに関する厳密な規約を定めている。またサイト上のデータを統計資料および研究企画開発に利用する場合においては, 個人が特定できない資料とした上で, 業務提携先等に提供する旨を明記している。入会時にはこれらの規約に同意した上で会員として登録され, さらにいつでも退会できることを保障している。本研究は岡山大学大学院保健学研究科看護学

1) Ayumi Ida

関西福祉大学看護学部

2) Hikari Inoshita

岡山大学大学院保健学研究科

分野倫理審査委員会で承認を受けた上、実施した（承認番号：D11-12）。

4. 用語の定義

1) ソーシャルメディアとは、人々の社交を支援するメディアのことを指し、一般消費者が自ら参加し発言することでつくられるメディアの総称であり⁷⁾。本研究に提供を受けたWebサイトをはじめSNS (social networking service)、動画共有サイトなどを包含したもの。

注1) 単語頻度分析は、どのような単語が何回出現するかをカウントしたもの⁸⁾。

注2) 係り受け頻度分析とは、主語と述語の関係、修飾と被

修飾の関係というように文章の中で単語と単語がどのようにつながっているかを示す関係をいう⁹⁾。

注3) 注目分析とは、ある特定の単語に注目して、それがテキストの中でどのような表現のなかで用いられているか、他のどのような単語・属性と同時に出現しているかを示したもの¹⁰⁾。

III. 結果

本文中の「 」は単語として抽出されたもので、〔 〕ゴシック体で表記したものは発言内容の原文を表している。

1. 2歳児をもつ母親の育児情報ニーズ
全体的な単語の出現をことばネットワークで分析し

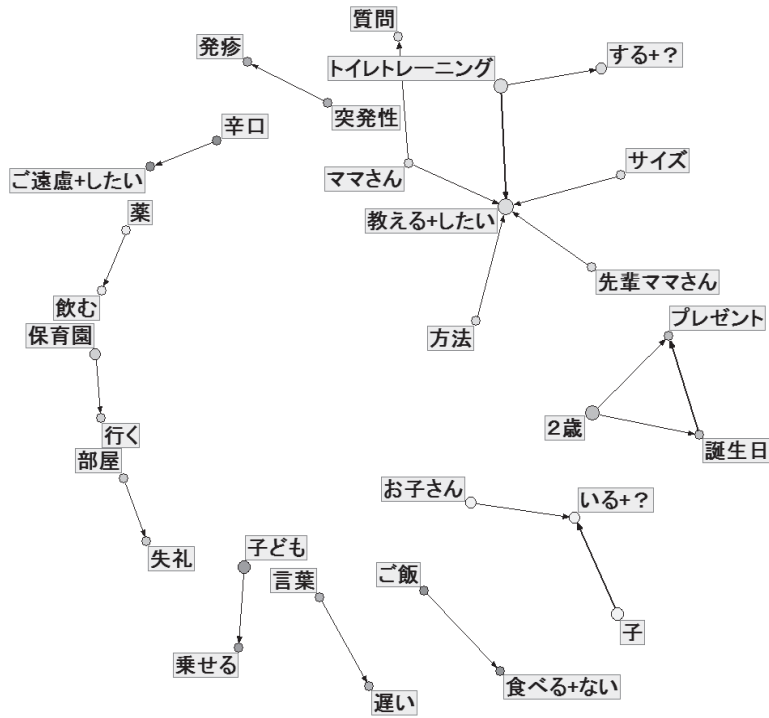


図1. ことばネットワーク図 (2歳児ママの部屋)

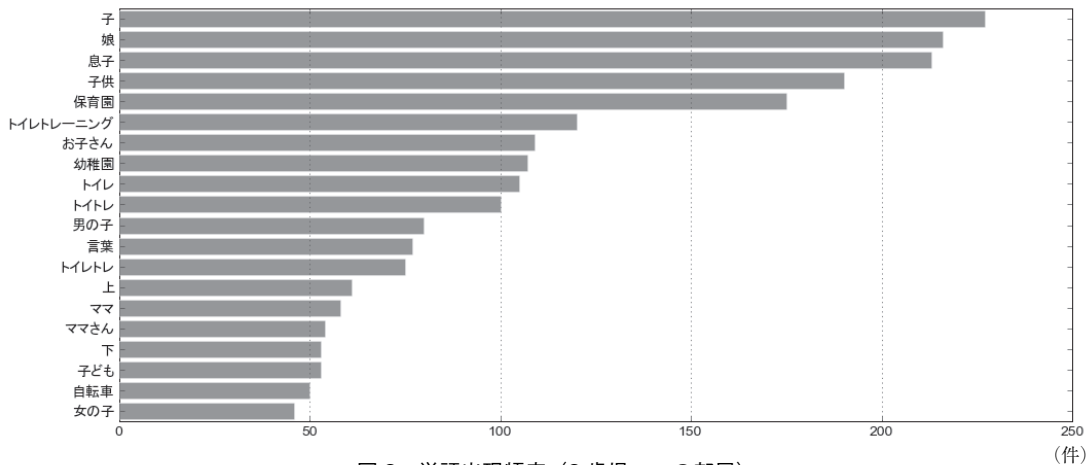


図2. 単語出現頻度 (2歳児ママの部屋)

たところ、11のクラスターが出現した（図1）。

さらに、単語の出現頻度を分析すると、「子」「娘」「息子」「子供」「保育園」の順に多かった（図2）。

トイレトレーニングに関連した単語については「トイレトレーニング」「トイレ」「トイトレ」「トイトレレ」と表現は様々であるが、これらを「トイレトレーニング」の単語で一括すると最も多く抽出される単語となった。

「トイレトレーニング」を含む発言内容を係り受け頻度解析により分析した結果、「トイレトレーニング」には「進む+ない」「進め方」「始める+したい?」といった単語が係り受けられており、2歳前後を目途に開始する「トイレトレーニング」に関しての情報ニ

ズが高いことがうかがえた（図3）。原文を参照すると「トイレトレーニングが進みません」「ちっとも進まないトイレトレーニング」というように順調に進まない状況を発言し、自分の子どもの状況に沿ったより詳細かつ具体的な進め方についてのアドバイスを得たいという母親のニーズが明らかとなった。

次に「言葉」を含む発言内容を係り受け頻度解析により分析した結果、「理解」「遅れる」「遅い」「遅れ」といった単語が係り受けられていた（図4）。本文を参照すると「言葉の理解に乏しい息子」「言葉の発達が遅い」「言葉が遅れています」というように、子どもの言語発達の遅れを不安に感じている母親の様子うかがわれた。

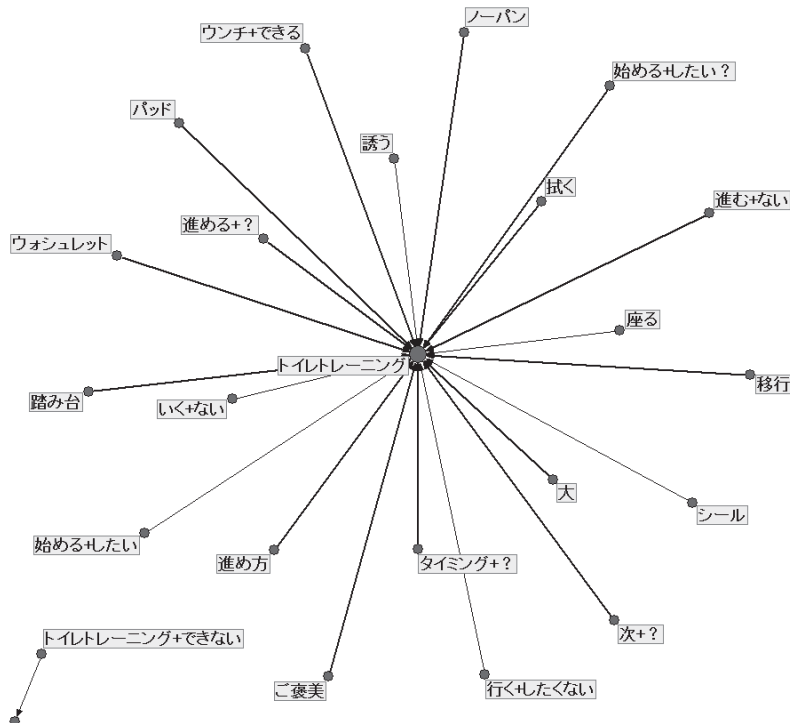


図3. 「トイレトレーニング」の注目分析

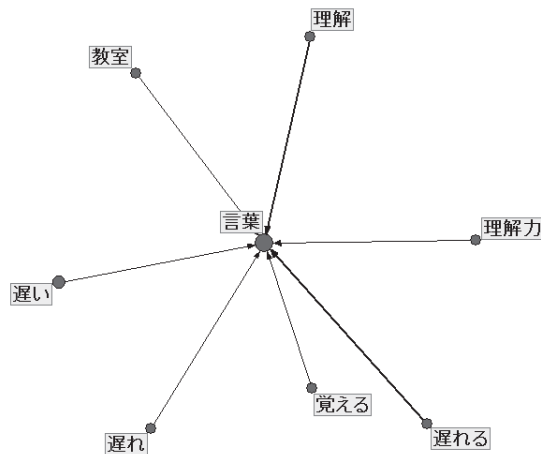


図4. 「言葉」の注目分析

2. 3歳児をもつ母親の育児情報ニーズ

単語の出現をことばネットワーク分析により概観すると、6つのクラスターが出現した(図5)。

単語の出現頻度は、「幼稚園」「教える+したい」「トイレトレーニング」「3歳」「娘」「息子」の順に多かった(図6)。これらの単語を含む発言内容を係り受け

頻度解析により分析した結果、「幼稚園」には「選ぶ」「行く」「教える+したい」といった単語が係り受けられていた(図7)。また、幼稚園とは異なり保護者が労働・疾病などの理由で保育できない場合に小学校入学前までの乳幼児を保育する施設である「保育園」という単語の出現もあり、「行く」「入園式」「預ける」

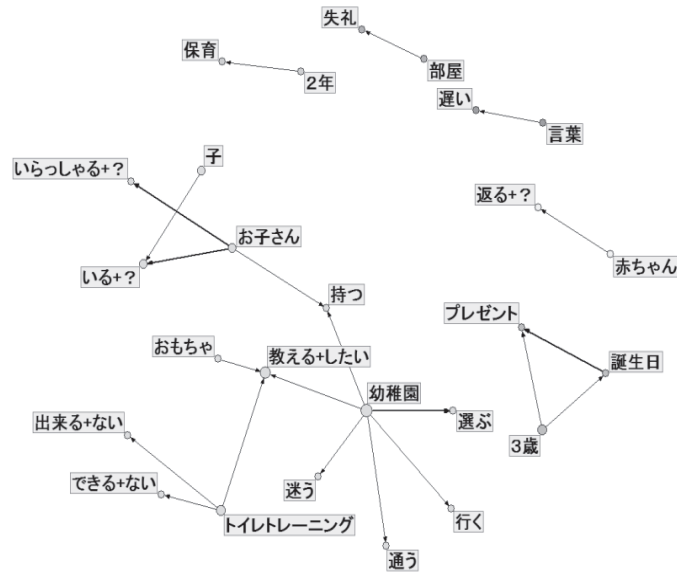


図5. ことばネットワーク図(3歳児ママの部屋)

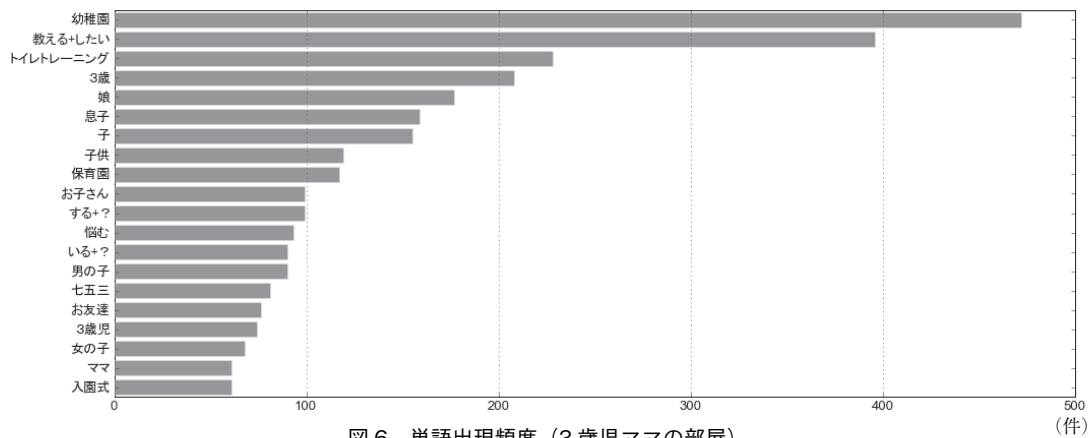


図6. 単語出現頻度(3歳児ママの部屋)

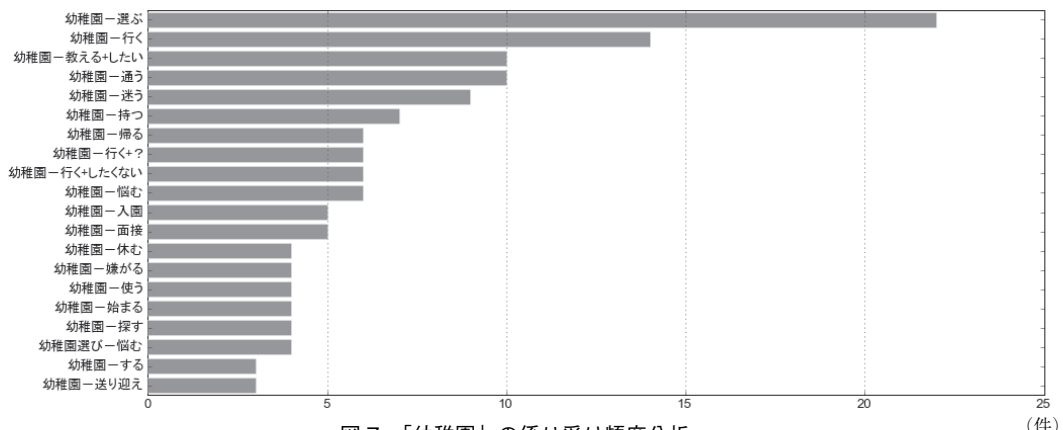


図7. 「幼稚園」の係り受け頻度分析

といった単語が係り受けられていた (図8)。さらに、「幼稚園」という単語に注目して、どのような表現の中で用いられているかに注目して分析した結果、「幼稚園」と「保育園」のどちらに入園するか (図9-a)、どこの「幼稚園」を「選ぶ」か (図9-b) に悩む母親

の様子がかがわれた。

「トイレトレーニング」の発言内容を係り受け頻度解析により分析した結果、「教える+したい」「できる(出来る)+ない」「嫌がる」といった単語が係り受けられていた (図10)。さらに、「トイレトレーニング」

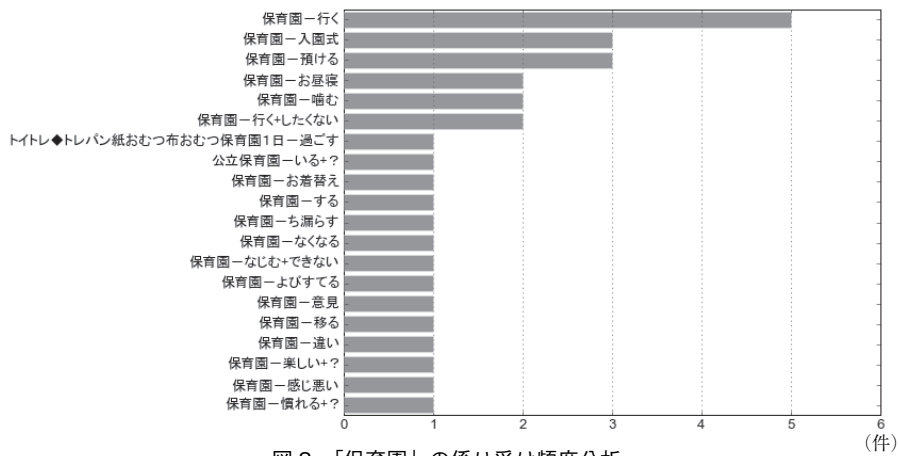


図8. 「保育園」の係り受け頻度分析

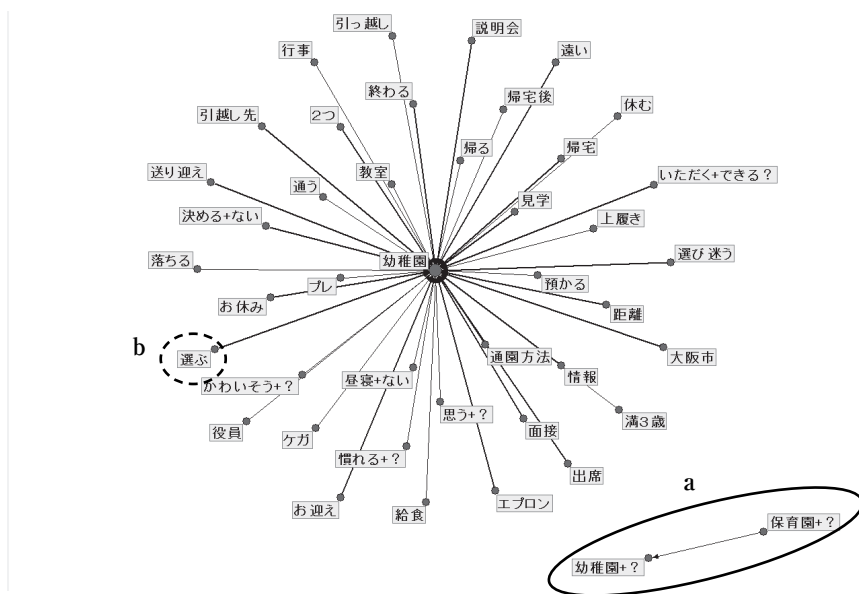


図9. 「幼稚園」の注目分析

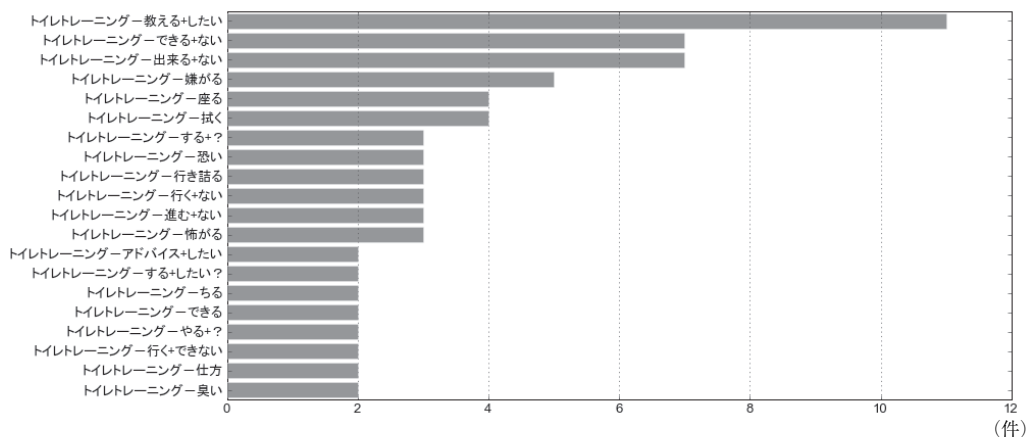


図10. 「トイレトレーニング」の係り受け頻度分析

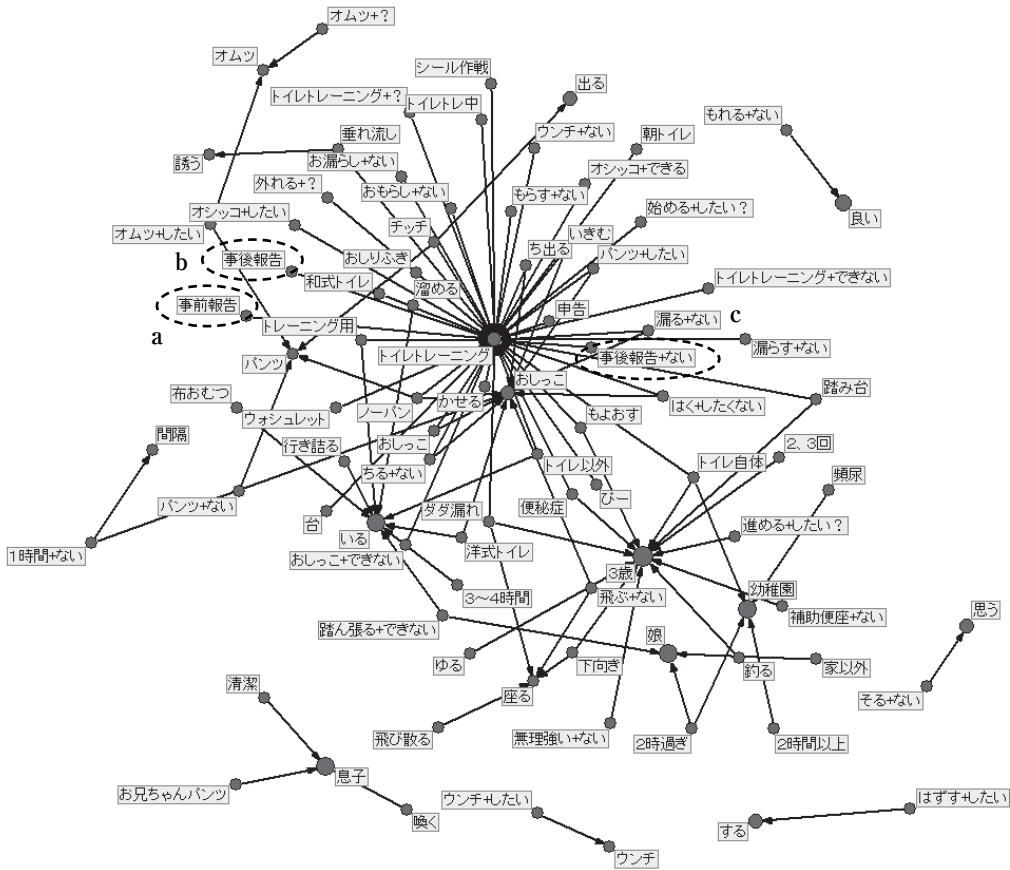


図 11. 「トイレトレーニング」の注目分析

という単語に注目して、どのような表現の中で用いられているかを分析した結果、排泄の際の「事前報告」（図11-a）ができず「事後報告」（図11-b）となる、もしくは「事後報告+ない」（図11-c）など排泄の自立に向けてのアドバイスを求める発言が多くみられた。

IV. 考察

2歳児をもつ母親は、2歳前後を目途に開始する「トイレトレーニング」に関して育児情報ニーズの高いことが明らかとなった。近年の育児書ではおむつは成長ともなっても自然にはずれるものという考え方から「おむつはずし」「おむつはずれ」という言葉を使っている¹¹⁾。しかし、本研究では「トイトレ」「トイレ」など様々な表現ながら「トイレトレーニング」という言葉が圧倒的に多く使われていた。おむつは自然にはずれるものと思ながらも現実にはなかなか進まないおむつはずれへの母親の焦りが推察された。

子どもの言葉の遅れは心配のない場合が多いが、中には「聴こえの問題」「知的発達の問題」「対人関係の問題」等様々な問題が潜んでいる場合もある¹²⁾。子どもの言葉の遅れは母親の育児負担感や育児肯定感に影響する¹³⁾

と言われており、ソーシャルメディアでの情報収集や意見交換のみでは適切な判断を誤る可能性がある。専門職者による適切な時期に適切な方法での支援の検討が必要である。

3歳児をもつ母親は、「幼稚園」に関連する育児情報ニーズの高いことが明らかとなった。就学前教育の場を「幼稚園」にするのか「保育園」にするのか、さらには、どこの、どのような特徴の幼稚園にするのかの選択に迷い悩み、入園してからは子どもが通園を嫌がることに困惑している母親の様子が明らかとなった。

一方で、2歳児をもつ母親と同様に3歳児をもつ母親も、トイレトレーニングが順調に進まない状況を発言している。3歳前後で完了するといわれる「おむつはずれ」であるが、排泄後の事後報告はできるが、事前に報告できないといった完了途中の母親の焦りが推察された。排尿（便）予告の成功が急に伸びる時期には時期の目安があると同時に個人差があるといわれている¹⁴⁾。母親はわが子の状況を発言することで、他の母親から詳細な情報を得たいニーズが明らかとなった。

以上より、2歳児および3歳児をもつ母親は、同年齢の子どもをもつ母親の経験談をふまえた具体的、実践的

なアドバイスを求めていることが明らかとなった。育児支援に関わる専門職者として、まずは、インターネット上の母親達のコミュニティの存在を理解し、関心をもつ必要性が示唆された。今後は、情報の質を見極め、必要なものを選択し、自己の意思決定できるようヘルスリテラシー向上のための支援が重要である。

V. 結語

ソーシャルメディア上の発言内容を分析した結果、2歳児および3歳児をもつ母親の育児情報ニーズについて、以下のことが示唆された。

1. 2歳児では、「トイレトレーニング」と子どもの「言語発達」に関連したものが多くを占めていた。
2. 3歳児では、「幼稚園」「保育園」に関する内容が多く、「トイレトレーニング」が順調に進まないことに悩み、同じ月齢の児をもつ母親の経験談を求めている。
3. 今後は、母親がソーシャルメディア上の育児情報の質を見極め、必要なものを選択し、意思決定できるようヘルスリテラシー向上のための支援が重要である。

謝辞

本研究にあたり、データ使用を快諾くださったウィメンズパーク管理者である株式会社ベネッセコーポレーション様に、心より感謝申し上げます。なお、本研究は、平成26～28年度科学研究費基盤研究(C)(課題番号26330353)の助成を受けて実施した研究の一部である。

文献

- 1) ベネッセ教育総合研究所：研究報告書 Vol.2 第1回 乳幼児の親子のメディア活用調査報告書, 80-81, 株式会社ベネッセコーポレーション, 2014.

- 2) 総務省：平成27年版 情報通信白書, 370, ぎょうせい, 東京, 2015.
- 3) 前掲1) 369.
- 4) 井田歩美, 猪下光：特集 看護研究におけるテキストマイニング(Ⅱ) ソーシャルメディア上のビッグデータを分析して－乳児をもつ母親の関心事, 看護研究, 46 (6), 543-551, 2013.
- 5) 井田歩美, 猪下光：乳児をもつ母親の育児情報ニーズ－ソーシャルメディアにおける発言の分析－, ヒューマンケア研究学会誌, 6 (1), 17-23, 2014.
- 6) 井田歩美, 猪下光：1歳児をもつ母親の離乳に関連した育児情報ニーズ－ソーシャルメディアにおける発言の分析－, ヒューマンケア研究学会誌, 7 (1), 21-27, 2015.
- 7) 武田隆：ソーシャルメディア進化論, 18, ダイアモンド社, 東京, 2011.
- 8) 服部兼敏：テキストマイニングで広がる看護の世界, 93, ナカニシヤ出版, 京都, 2010.
- 9) 前掲8) 102.
- 10) 前掲8) 124.
- 11) 山藤宏子：トイレトレーニングにおける排泄自立に向けた幼児の行動特徴, 人間科学研究, 29, 39, 2016.
- 12) 大内美南, 里村愛子：特集小児外来の育児相談 ことば, 小児科臨床, 56 (4), 656-664, 2003.
- 13) 関美雪, 谷村雅子：3歳児の言語発達と母親の養育意識・養育行動との関係, 埼玉県立大学短期大学部紀要, 2, 35-43, 2001.
- 14) 小倉裕子：「おむつはずしについて考える」～子どものペースに合わせたおむつはずしのチャンス～, 保育所保育実践研究・報告集, 7, 59-73, 2013.